

起業支援ファンド

「One Capital 1号投資事業有限責任組合」

に出資を行う組合契約を締結

独立行政法人中小企業基盤整備機構（略称：中小機構 所在地：東京都港区 理事長：豊永厚志）は、新事業開拓促進出資事業（ファンド出資事業）において、One Capital 有限責任事業組合を無限責任組合員とする投資事業有限責任組合に対し、中小機構出資分として15億円を出資することで合意し、組合契約を締結しました。

『One Capital 1号投資事業有限責任組合』は、SaaSスタートアップ企業への投資及び支援を通じ、SaaSツールによる企業の生産性向上に寄与し、ひいては日本全体のデジタル化推進を目指すファンドです。

引き続き中小機構では、全国9カ所の地域本部等が有する支援ツール等を最大限に活用しながら、中小企業を支援して参ります。

<独立行政法人中小企業基盤整備機構（中小機構）>

中小機構は、事業の自律的発展や継続を目指す中小・小規模事業者・ベンチャー企業のイノベーションや地域経済の活性化を促進し、我が国経済の発展に貢献することを目的とする政策実施機関です。経営環境の変化に対応し持続的成長を目指す中小企業等の経営課題の解決に向け、直接的な伴走型支援、人材の育成、共済制度の運営、資金面での各種支援やビジネスチャンスの提供を行うとともに、関係する中小企業支援機関の支援力の向上に協力します。

<本件に関するお問い合わせ先>

独立行政法人 中小企業基盤整備機構

ファンド事業部 ファンド事業課（担当者：松原、大穂）

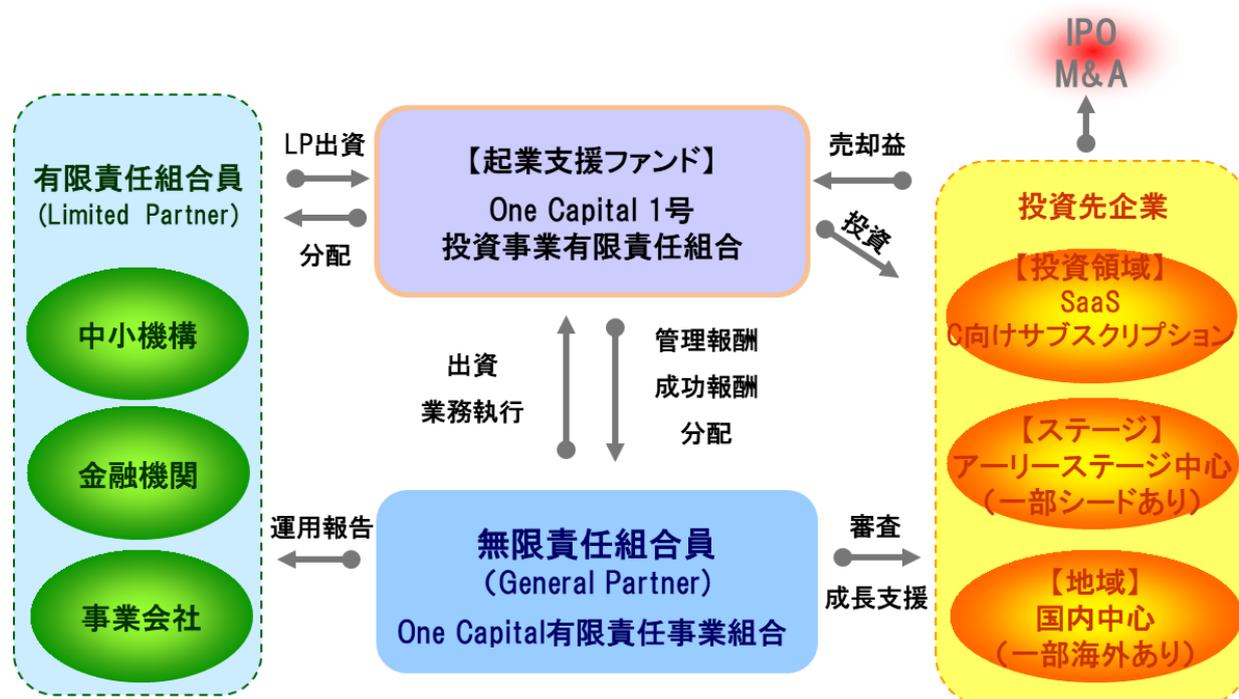
住所：東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル

電話：03-5470-1673（ダイヤルイン）

◆「One Capital 1号投資事業有限責任組合」の概要

- 「One Capital 1号投資事業有限責任組合」は、One Capital 有限責任事業組合（所在地：東京都港区）を無限責任組合員とする投資ファンドです。並行して設立したファンドを含めたファンド総額は160億円になります。
- One Capital 有限責任事業組合は、One Capital 株式会社（所在地：東京都港区、代表取締役CEO：浅田慎二氏）及びパートナー2名により構成される上記ファンドの運営事業体です。
- One Capital 株式会社は、主にアーリーステージのSaaSスタートアップを対象に投資を行うベンチャーキャピタルです。

<スキーム図>



<制度の内容及び実績について>

起業支援ファンドについて

https://www.smr.j.go.jp/doc/supporter/supportter_fund_investment_01.pdf

中小機構ファンド事業出資実績

https://www.smr.j.go.jp/doc/supporter/supportter_fund_investment_04.pdf